

自 己 評 価 表

愛媛県立今治西高等学校全日制

学校番号(14)

No. 1

教育方針	徳・知・体の調和のとれた健全な心身の発達を目指し、個性豊かな人間の育成を期する。	重点目標	1 温かい人間性と豊かな社会性を身に付けさせる。 2 高い知性と豊かな創造性を養う。 3 強い意志とたくましい体力を培う。
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
温かい人間性と豊かな社会性	基本的生活習慣の確立	規則正しい生活をする事で体調管理に努めさせ、年間通して欠席0日の生徒70%以上を目指します。 A：70%以上 B：69～60% C：59～50% D：49～40% E：40%未満	B	新型コロナウイルス感染症による休校措置などもあり、規則正しい生活を送ることが難しい状況であったが、多くの生徒が、リモート授業等に意欲的に取り組み、体調管理にも努めることができた。	・有事の事態を想定して、自己目標の達成のために高い意識で学校生活を送らせる等、日頃から規則正しい生活の啓発に努めたい。 ・体調不良等、心身に異変があった場合の、学校への連絡を徹底させたい。
	安心・安全な学習環境の確保と心身の健康	自他の生命を尊重する態度を身に付けさせるとともに、交通安全意識の高揚を図り、交通事故ゼロを目指します。	B	いじめ等の問題行動がなく、お互いを尊重しあえる人間関係が形成された。交通事故は1学期8件、2学期3件、3学期0件と減少傾向にあり、改善が見られた。	・問題行動の未然防止に向けた外部機関等と連携した取組の実践に努めたい。 ・年度初めからの低学年への交通安全教育の推進を実践したい。
		「心の悩み」解消をサポートし、充実感の持てる学校を目指します。	C	諸検査やアンケート、及びその追跡を行い、悩み解消のサポートに取り組んだ。放課後、相談室に担当者が在室するようにした。	・諸検査や学校生活アンケートを活用し、悩みの早期発見に努めたい。
		保護者・地域に支えられた学校として、PTA総会出席率40%、保護者懇談会出席率100%を目指します。 PTA総会 A：40%以上 B：39～30% C：29～20% D：19～10% E：10%未満 保護者懇談会 A：100% B：99～80% C：79～60% D：59～40% E：40%未満	B	PTA総会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になり、代わりに書面での承認となったが、保護者からの承認書回答率が97.1%と高い結果となった。 保護者懇談会は例年通りほぼ100%に近い数値であった。	・PTA総会は、例年どおり授業参観と学校行事(陸上競技大会)を行い、出席率を40%以上にあげたい。
		安心して活動できる学校を維持するための防災教育や環境教育を充実させます。	B	シェイクアウト訓練、防災避難訓練を2回ずつ実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で、一斉避難訓練ができなかった。	・水害や南海トラフ巨大地震等に備え、防災倉庫の物品管理等を含め、学校防災体制を見直しを行いたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
高い知性と豊かな創造性	学ぶ意欲を高揚させる 教科指導の充実 (授業改善への取組み)	ICTの活用などにより、主体的・対話的で深い学びを積極的に取り入れ、授業満足度100%を目指します。(「授業に関する生徒評価」4.8ポイント以上) A: 4.8p.以上 B: 4.7~4.6p. C: 4.5~4.4p. D: 4.3~4.2p. E: 4.2p.未満	A	授業に関する生徒評価は、全体平均4.8ポイントと目標を達成できた。 また、各教室に電子黒板が設置され、各教科でICT機器を利用した授業がスタートした。	・ICT機器の活用については、「活用＝教育効果の向上」ではない面もある。教科・科目の特性を考慮した効果的な活用方法の研究が必要である。
	自ら学び自ら考える力を育てる 家庭学習の充実	確かな学力の定着を図るために、課題の与え方を工夫し、家庭学習1日平均4時間以上を目指します。	B	家庭学習時間は、3年生が通年5.2時間、1・2年生は考査発表中が4.9時間、平常時が3.0時間と、ほぼ目標に近い数値となった。	・課題の達成のみに終始することのない家庭学習の習慣化について、研究していきたい。
	読書活動の推進と 思索する態度の育成	年間1回以上のクラス読書会、2回以上の全校読書会、全学年による朝読書を実施します。 「螢雪ライブラリー」を改訂して一層の活用を図り、読書レポートや読書感想文などの実施を通して、より高いレベルで読書し思索する態度を育てます。	B	朝読書は、各学年団の指導及び図書委員会の取組により概ね良好であった。年2回の校内読書会は、新型コロナウイルス感染症の影響で規模縮小したが、内容は充実したものとなった。新しい教育課程に対応した「螢雪ライブラリー」の改訂と図書購入を行い、読書し思索する態度の育成に努めた。	・引き続き、全学年での朝読書を実施したい。また、120周年記念事業として図書管理システムを導入したので、新しい「螢雪ライブラリー」を含め図書館利用を推進したい。図書館の教科横断的な利用を意識しながら、読書の質・量のさらなる向上を図りたい。
強い意志とたくましい体力	特別活動の充実と連帯感の醸成	学校行事を精選し特別活動をより充実したものに、たくましい心と体を育てます。 ボランティア活動への参加を促し、「共生」の心を育てます。	B	運動会は無観客とし感染症拡大防止に全校で努め、可能な範囲で学年を超えて交流を深めることができた。校外との交流は制限があり予定どおりはできなかった。個々にはボランティアを行っていた。	・できることは何か一人ひとりに考えさせコロナ禍でそれ以前と同様にたくましい西高生となれるよう創意工夫をさせたい。
	部活動の充実と心身の健やかな成長	レベルの高い学習と部活動の両立を目指し、生き生きとした学校生活を送れる環境づくりに努めます。(部活動加入率100%) A: 90%以上 B: 89~80% C: 79~70% D: 69~60% E: 60%未満	B	大会などの中止・延期・縮小が続く中、所属している部活動において、それぞれが協力して活動を行った。加入率はやや落ちたが、校外のクラブで活動している者もあり、幅広い活動が見られた。	・今だに先が見えない現状ではあるが、充実した学校生活を送るためにも、大会や行事が行われるものとして協力して準備を行い100%の力が発揮できるように、お互いが切磋琢磨して行事に参加できる環境を整えたい。
		「部活動の在り方に関する方針」に基づいて、適切な活動を行います。	A	勉強との両立を図り、休養日を設けてメリハリのついた活動を行うことができた。	・部活動に対する共通理解を深め、計画をしっかり立て、高いレベルの文武両道を目指し、適切に活動をさせる。
	人権・同和教育の充実と 豊かな心の育成	人権尊重の意識を高め、差別解消への実践力を高めます。	B	昨年度より生徒・教職員とも対外的な学びや研修の機会を確保できた。実施できたものには一定の効果があつた。	・同和問題も含めた広範な人権問題への認識を深めさせたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があつた B：かなりの成果があつた C：一応の成果があつた D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
夢の実現	進学指導の充実と進路意識の醸成	生徒全員の自己実現・進路実現を目指します。 (国公立大学合格率70%以上) A : 70%以上 B : 69~65% C : 64~60% D : 59~55% E : 55%未満 (国公立難関大学+医合格40名以上) A : 40人以上 B : 39~35人 C : 34~30人 D : 29~25人 E : 25人未満	B	総合型選抜・学校推薦型選抜では昨年度6/16(合格者数/受験者数)、14/48であった結果が、本年度は5/12、20/51と合格率が上昇し、難関大学への合格者も増加した。大学入学共通テストの平均点は昨年より大きく下降したが、国公立大学の出願に大きな影響はなかった。一般選抜は、現役193名過年度卒17名の210名が合格した。難関大学の合格者は現浪合わせて33名が合格している。	・思考力・判断力・表現力を高める授業改善を継続することで、大学入学共通テストへの備えをしっかりとしていきたい。第一志望校への熱意があり、特別活動やコンテスト等で実績のある生徒には、総合型選抜や学校推薦型選抜による受験を勧めたい。
		高大連携を深め、視野を広げ、学びへのモチベーションを高めます。	B	1年生ZESTの探究学習で、今治市役所と連携したRESAS講座を開設し、発表会を実施した。岡山理科大学と連携した市民講座や実験実習を行った。	・探究学習の充実に向けて、松山大学、岡山理科大学、今治JA、Docomo等と連携する予定である。
		「西高に入学してよかった」と思う生徒の育成を目指します。(「学校評価(生徒評価)」4.5ポイント以上) A : 4.5p.以上 B : 4.4~4.0p. C : 3.9~3.5p. D : 3.4~3.0p. E : 3.0p.未満	B	生徒評価は4.4ポイントで、昨年度と同じであった。3年生は4.5と高くなっているため、自分の目標に向かって主体的に取り組むことが、生徒評価に直結していると感じる。	・新入試の分析を進めて適切な情報を周知し、進路意識を高め、探究や諸活動を生かして進路を開く生徒の育成に努めたい。
安全管理	開かれた学校づくり	ホームページに毎日の生徒の活動や連絡事項を掲載するなどして情報発信に努めます。	B	日々の様子や部活動の様子など、生徒の活動が伝わる情報発信ができた。	・内容や更新頻度、あるいはページ全体のデザインなどは、随時見直しを図り、改善を続けたい。
	安全管理	情報の適切な保管・管理に努め、事務処理の適正化を徹底します。	B	校務系・学習系ネットワークの分離、各ファイルサーバーの活用により、適切なデータ管理ができている。	・引き続き、教員研修などを通じて、情報管理の徹底を図っていきたい。
		施設・設備の安全点検、改修を徹底し、事故の防止に努めます。	B	「安全点検」を4月、8月、1月に行い、校内点検を実施した。補修箇所については、対応可能な所は迅速に行った。	・老朽化に伴う修理箇所は随時検討して対応したい。
業務改善	働き方改革の推進	業務の効率化・平準化を図り、勤務時間の適正化によってワーク・ライフ・バランスの取組を推進します。	C	学校閉庁日の設定や部活動の練習時間の厳守を職員間で共有することで、勤務時間外在校等時間を減少させることができた。また、テレワークに積極的に取り組むことができた。	・校務分掌課長には、年度当初に業務内容の見直しや改善策等について、目標チャレンジシートに記載してもらい、積極的に行うように指示を出す。 ・テレワークの推進を行いたい。
	職場環境の整備	毎月の衛生委員会の実施や職場の整理整頓等により、教職員の心身の健康の保持増進に関する啓発を行います。	B	毎月の衛生委員会実施や、職員室内の下駄箱・洗い場の整理整頓、教室照明のLED化など、職場環境の改善に努めた。	・職場の環境美化に取り組む意識の高い教職員を増やすことから始めたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。